



発行日：令和6年6月27日

みなさん、こんにちは。図書委員会です。
最近、暑い日が続いていますがみなさん体調はいかがですか？毎日暑くて学校なんてだるい…。そんな風を感じている人も多いと思います。そこで今回は青春にまつわる図書委員のおすすめ本を紹介します。3年間という短い学校生活がみなさんにとって充実したものになることを願ってまーす！

夜のピクニック

作者：恩田陸

あらすじ：高校生活最後の行事である歩行祭に参加する主人公の貴子。貴子は密かにある決意を抱いて歩行祭に参加していて……。
魅力：歩行祭を通して描かれる登場人物達の葛藤や衝突、そして成長。友情、恋愛、家族、夢、青春のすべてが詰められたこの夏必見の1冊です。



この夏星を見る

作者：辻村深月

あらすじ：コロナ禍で様々な制限が課される中、繋がる天文学部の生徒達。
はたして彼らの目的とは……。
魅力：コロナ禍での生きづらさを感じながらも青春を掴み取ろうとする主人公たち。コロナ禍を過ごしてきた私たちの心に響く一冊です。



プリズムの夏

作者：関口尚

あらすじ：映画鑑賞が好きな植野と今井は些細な事から映画館のスタッフである松下さんに思いを寄せる。しかし、2人はあるブログを通じて松下さんがうつ病や自傷癖を患っているのはいかんと疑い始める……。
魅力：思春期時代の丁寧な心理描写を通して主人公の憧れや戸惑いを描いた作品。心情描写が丁寧なだけに、青春時代の問題について考えさせられます。